

力を合わせ
新しい一歩を

代表選を終えて——

力を結集し、 次の国民民主党へ

9月6日に東京都内で臨時党大会を開催し、代表選挙の投開票を行いました。

投開票の結果、**玉木雄一郎氏**が新代表に選出されました。これからも、皆さまの声を力に、より良い日本の未来に向けて歩みを進めてまいります。

新代表 就任あいさつ

あらゆる所属議員の力が
結集できる体制を
構築する

国民民主党 新代表
玉木雄一郎氏



玉木雄一郎氏、 橋本幹彦氏の 真剣な論戦に敬意

玉木雄一郎氏、橋本幹彦氏は、それぞれの信念とビジョンを掲げ、日本の未来に向けた建設的な議論を重ねられました。その真摯な姿勢に、心から敬意を表します。

代表選で示された 意見や提案を生かし、 より信頼される 国民民主党へ。

今回の代表選でいただいたさまざまなご意見やご提案を力に、より開かれた、信頼される国民民主党をつくっていきます。これからも、皆さまとともに歩んでまいります。

対決より解決で、日本を前へ。

なぜ『合区4県』が国会へ？

地方の声を国政から消さないでほしい

9月4日、参議院選挙の「合区」の解消を求め、全国知事会の皆さんが国会を訪れました。

現在、参議院選挙では、鳥取県と島根県、徳島県と高知県が、それぞれ二つの県で一つの選挙区となっています。

これが「合区」です。

今回、地方から改めて訴えられたのは、単なる選挙区の線引きの問題ではありません。

人口が少ないというだけで、その地域の声が国政に届きにくくなってよいのか。

という、地方の代表性そのものに関わる問題です。

私は国民民主党の選挙制度調査会長として要請を受け、それぞれの地域が抱えている課題や、現行制度に対する率直な思いを伺いました。



全国知事会の皆さん（各県の代表者）と関係者が国会を訪れ、要請書を手渡されました。

合区とは？

現在、参議院選挙では、鳥取県と島根県、徳島県と高知県が、それぞれ二つの県で一つの選挙区となっています。

鳥取県 + 島根県

徳島県 + 高知県

1 人口だけでは測れない『地方の声』

東京と地方では、抱えている課題が大きく異なります。

人口減少、地域交通、医療、農林水産業、防災、社会インフラ。

こうした課題は、人口の多い地域だけを見ては十分に把握できません。

もちろん、「一票の価値をできるだけ平等にする」ことは大切です。

一方で、

「人口の少ない地域からも代表を送り、その地域の声を国政に届ける」

という視点も、同じように重要だと考えています。

数字だけで選挙制度を考えるのではなく、**国会が日本各地の多様な声をどう受け止めるのか。**

そこまで含めて議論しなければなりません。



国会で、各県からの要請内容や、それぞれの地域が抱える課題・意見を伺いました。

2 参議院だからこそできることは何か

衆議院と参議院には、それぞれ異なる役割があります。

だからこそ、選挙制度についても、

「衆議院と参議院をまったく同じ発想で考える必要があるのか。」

というところから検討する必要があります。

今回いただいた地方の声もしっかり受け止め、国民民主党の選挙制度調査会長として、

「一票の平等」と「地方の代表性」をどう両立していくのか。

引き続き議論を進めていきます。



地方に住んでいても、その声が国政に届く。 そんな選挙制度を考えていきます。



プロフィール

参議院議員 後藤 斎（国民民主党 山梨選出）

1957年山梨県生まれ | 東北大学経済学部卒業 | 農林水産省勤務 | 衆議院議員4期 | 山梨県知事

国土交通委員会 理事 | 政治改革特別委員会 | 行政監視委員会 オブザーバー理事

選挙制度調査会長 | 農林水産部会 副会長 | 政治改革・行政改革推進本部 本部長代理 | 政務調査会 筆頭副会長

国土審議会 豪雪地帯対策分科会 特別委員 | 国土開発幹線自動車道建設会議 委員 | 参議院改革協議会 選挙制度に関する専門委員会 委員